

【Accopsニュースレター】 2026.8.17 製品リリースについて

2026/09/17 20:27:23

記事印刷

区分:	ACCOPS FAQ::01. お知らせ	投票:	0
ステータス:	公開 (全員)	結果:	0.00 %
言語:	ja	Last update:	2026/08/17 - 21:46:57

キーワード

HySecure 7.3SP1

症状 (公開)

問題 (公開)

解決 (公開)

【 HySecure 】 HySecureの新しいバージョンがリリースされました。 ・ リリース名: HySecure Gateway 7.3 SP1 (Build: 169) 日本では2026年8月17日よりサポートされます。 このリリースは、新機能と既存機能の強化を網羅した非累積的なサービスパックです。 このバージョンへのアップグレードを強くお勧めします。 また、十分な検証を実施の上、適用されることをお勧めいたします。 ■適用対象 このリリースは、HySecureの以下のリリースに適用可能です。 HySecure Gateway 7.3 Build 96 ■今回のリリースの主なハイライト - エンドポイントセキュリティの継続的な再評価サポート - 信頼できるアクセスデバイスに対するMFAバイパス - 管理コンソール経由でのウイルス対策検出ルールのアップロード - アプリケーションおよびアクセス制御のクローニングサポート - エンタープライズブラウザ構成管理 - 指定されたワークスペースクライアントバージョンの適用 - HyLite PortalにおけるHyWorks VDIロック再認証のサポート - MACアドレスの一括アップロードに対応 - DC-DR同期機能の強化 - データベース同期監視 - セルフサービスポータルにおけるモバイルトークンのサポート - プライバシー管理を強化するための機密データマスキング ■ ご注意事項 このサービスパックの適用にはダウンタイムが必要です。サービスパックの適用中はゲートウェイが再起動します。アクティブノードにサービスパックを適用すると、ゲートウェイが再起動し、アクティブノードはスタンバイノードとしてクラスタに参加し、スタンバイノードがアクティブになります。 このホットフィックスを適用すると、HySecure Gateway 上の既存のカスタマイズ設定がすべて上書きされます。ホットフィックスを適用する前に、カスタマイズ設定をバックアップしてください。 このホットフィックスを適用すると、HySecure Web EngineのバージョンがV2に設定されます。必要に応じて、セキュリティ担当者/管理者はホットフィックス適用後に手動でV1に設定することもできます。 NTPサーバーが設定され、すべてのノードでNTPサービスが実行されている必要があります。 HySecure管理コンソールのダッシュボードで、すべてのノードでHySecureサービスと同期サービスが実行されていることを確認してください。 ホットフィックスを適用する前に、ゲートウェイ上でライセンスが有効になっている必要があります。

Related Product, Service (公開)